



テーマ：「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた県立高校改革について

急速に進む少子化・人口減少時代において、本県が「選ばれる地域」となり、  
**人や投資を呼び込むためには、より良い教育環境の整備が必須**

→ 県内の高校教育の主体である県立高校それぞれが特色を打ち出し、多様性のある教育内容を提供していくことが求められており、変革を続けて魅力を高めていくことが必要

(参考) 魅力を高めるためのこれまでの取組

- ・ 中高一貫教育校を全国最多の13校設置
- ・ 民間人校長の採用（2020～23年で9名採用）
- ・ 全国初のIT専科高校、県内初のサイエンス専科高校設置（2023年度） など

一方で、県立高校においては、以下の課題に直面

- ・ 様々な分野で活躍する人財や、トップレベル人財の育成が急務
- ・ 国内外から呼び込む高度人材の子弟を対象とした教育の「受け皿」への対応
- ・ 県立高校への進学率の低下（私立高校への流出）、全日制高校の約6割で欠員が発生

前例にとらわれない**教育改革**を進め、県立高校のさらなる魅力づくりが必要

【改革の方向性の視点(例)】

多様性

自由な発想

「枠」にとらわれない

「とがった」特色

グローバル化

教員の働き方改革

学校名の見直し

教員の専門性

・・・ etc.